

○防犯に関する地域活動について

【参考資料】

1 防犯パトロール隊

犯罪の多くは、街頭や住宅など私たちに身近な場所で起きています。安全に安心して暮らせるまちをつくるためには、一人ひとりが防犯に対する意識をもち、地域全体で協力し、犯罪の起きにくい環境をつくるのが大切です。

防犯パトロール隊とは、地域住民の方々が集まって、自主的に防犯活動を行う団体のことです。

市民による防犯パトロール活動が行われている地域では、空き巣や車上狙いの被害が大幅に減少するなど、確実に効果が上がっています。

○ 美浜区 登録数：117団体 【平成22年7月末現在】

2 学校セーフティウォッチャー

千葉市教育委員会では「地域の子どもは、地域で守る」を基本に、平成17年度から千葉市学校セーフティウォッチ事業を行っています。

千葉市の各学校区では、子どもたちの登下校中の安全を確保するため、PTA・保護者会やボランティア、青少年育成委員会、町会自治会等の多くの方々に、巡回や見守りの活動をしていただいております。子どもたちが安心して通学できるよう「いつでも、どこかで、誰かが、子どもたちを見守る」制度です。

○ 美浜区 登録数：3,800人 【平成21年度末】

3 防犯ウォーキング

皆さまがいつも行っている普段の犬の散歩、ウォーキングやジョギング。そのときに、ちょっと防犯についての意識を持っていただくことが、地域の安全を守ることに繋がります。

「防犯ウォーキング」は、個人の方によるボランティア活動です。そのため、都合のいい時間に無理せず、気軽にパトロールを行っていただきます。

活動中は、積極的に挨拶をしたり、声をかけたりしてください。このことが、防犯についての意識を高め、地域の方々のきずなを強くすることにつながり、犯罪を未然に防ぐことができます。

○ 美浜区 登録数：1,674人 【平成22年7月末現在】